

《2階躯体工事を行っています》

1階躯体コンクリートを9月4日に打設し、現在は2階躯体工事を行っています。1階と同じように「鉄筋組立」→「型枠組立」→「コンクリート打設」という順番で工事を進めます。

10月上旬に2階コンクリートを打設したら躯体工事が完了し、外装、内装工事といった仕上工事が始まっています。足場のシートを張って中が見えにくくなってしまいますが、またお便りで状況をお伝えしていきたいと思っております。



《定点撮影》1階コンクリート打設前 R5.9.1



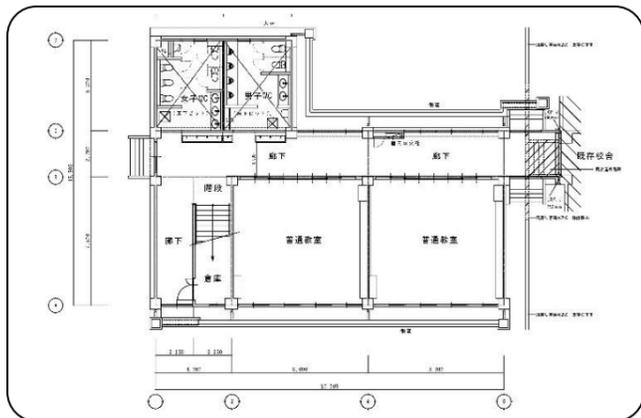
《定点撮影》2階鉄筋、型枠組立状況 R5.9.14

■工事概要

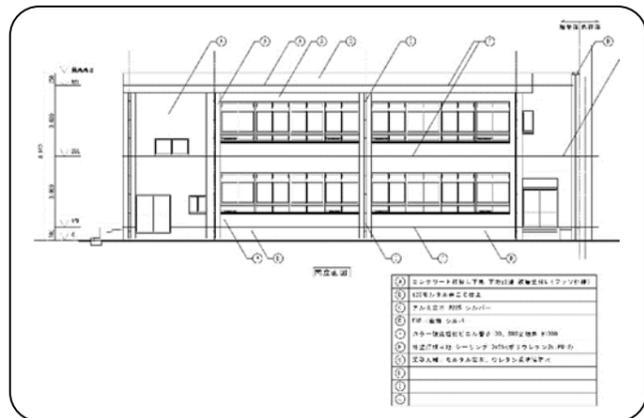
工事名	森田中学校校舎増築工事
工期	令和5年3月1日～令和6年1月26日
監理	福井市建設部建築事務所営繕課
設計	(有)アーキズム建築設計事務所
施工	(株)竹野組
内容	校舎増築 鉄筋コンクリート造 2階建 延べ面積521.22m ²

■工程表 全体工期：R5.3.1～R6.1.26

	R5年										R6年	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1		
校舎棟	仮設工事 撤去工事											外装工事 外構工事 内装工事
			杭工事	基礎工事		躯体工事						



【1階平面図】



【南立面図】

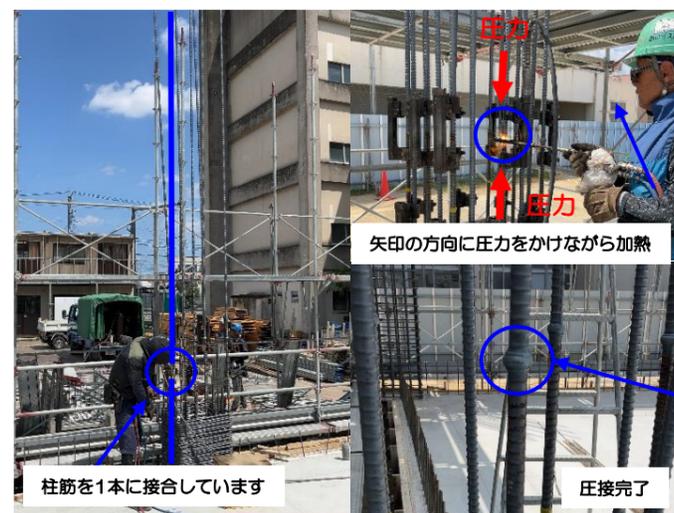


《鉄筋コンクリート造のご紹介》

先月号でも少しご紹介しましたが、鉄筋とコンクリートは相性がとてもいいです。例えば火に弱かったり錆びやすい鉄筋を、耐火性があり、強いアルカリ性であるコンクリートが守ってくれたり、お互いの弱点をお互いの特徴で補い合っています。

鉄筋コンクリート造は耐火性や防音性に優れており、耐用年数も木造の2倍以上となっています。

曲線や円形の建物もつくり、意外とデザインの自由度も高いんですよ。



《鉄筋ガス圧接工事のご紹介》

柱や梁の長い鉄筋は現場で「ガス圧接継手」という手法で1本に接合しています。

鉄筋同士を機械で圧力をかけながら突き合せ、その周りをガスバーナーで加熱することで、接合面が金属結合されて一体となります。

圧接が完了した箇所はふくらみのこぶが形成されます。このふくらみ部分の直径や長さなども規定で決まっています。

(圧接直後はかなり熱いので火傷に注意してます)



《コンクリートポンプ車のご紹介》

コンクリートは固まるまで「生コンクリート」と呼ばれ、ミキサー車で工事現場まで運搬されてきます。その「生コンクリート」を打設したい場所まで圧送するのがコンクリートポンプ車です。

今では建設現場に欠かせない重機の一つですがポンプ車がなかった昔は、ひたすら一輪車で夜遅くまで打設していたこともあったそう。。。

現場ではリモコンを使用してポンプ車のブームなどを操作しています。

工事完成までご迷惑をおかけしますが、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます

発行者：株式会社 竹野組 森田中学校校舎増築工事作業所

